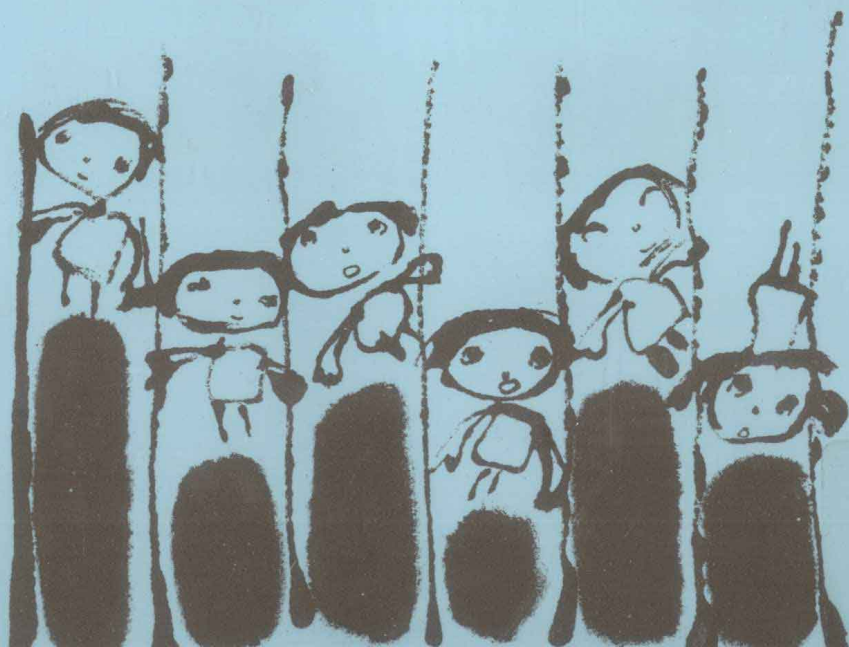
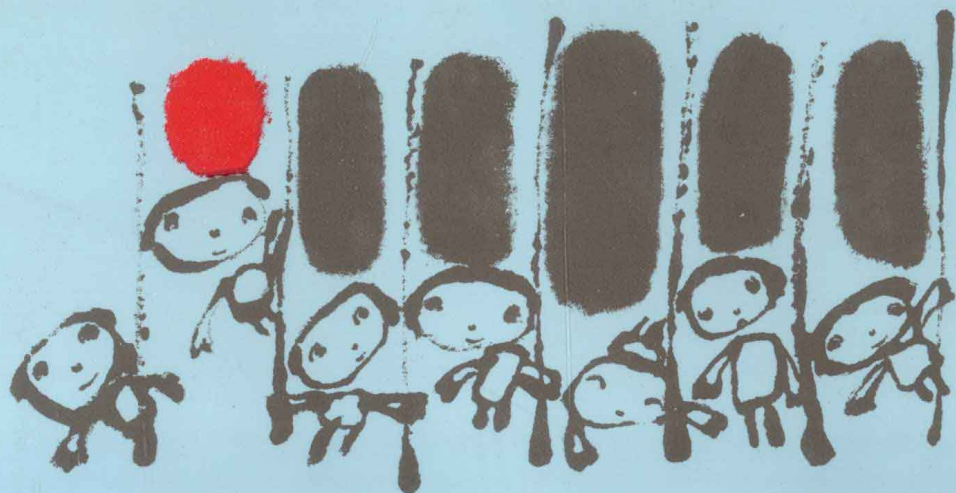


せんせいけらいになれ

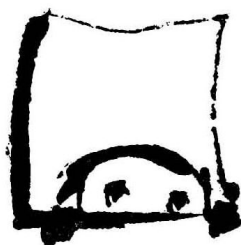
灰谷健次郎＝著 坪谷令子＝絵



せんせいけらいになれ

灰谷健次郎＝著

坪谷令子＝絵



1965年初版
1977年愛蔵版初版
NDC 911

8393-11041-8924

理論社
名作の愛蔵版

せんせいけらいになれ

著者 灰谷健次郎

画家 坪谷令子

制作 小宮山量平

発行者 山村光司

発行所 株式会社 理論社

東京都新宿区若松町一〇四
電話(二〇三)五七九一(代表)
振替東京九一九五七三六

発行日 一九七九年一月 第九刷

はじめに

おい

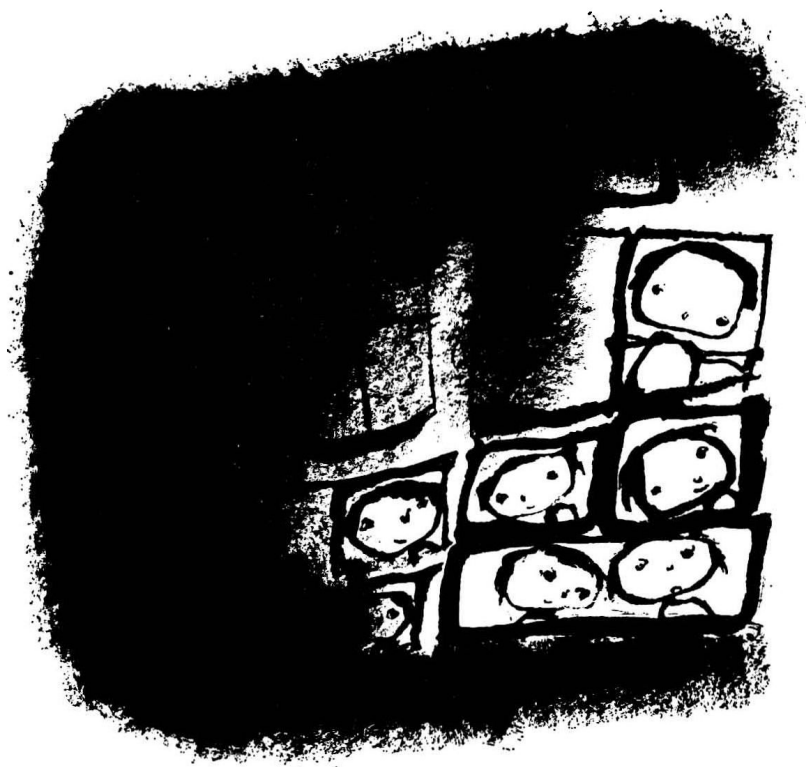
こども

あかんべー

やい

おとな

あかんべーえ



もくじ

はじめに

1

- 1 ギャングのテスト／6
- 2 けんかのすすめ／13
- 3 へんな広告／19
- 4 一億万円のおくりもの／21
- 5 おならのこうぎ／26
- 6 すきのいいかた／30
- 7 さんこくさいばん／34
- 8 はらをたてたときのおいしやさん／41
- 9 おとな観察記録／47
- 10 子どもノーベル賞／52
- 11 いのちがあと五日しかなかったら／60

2

- 1 詩で、おもろいで／68
- 2 詩はあんまさん／71



1	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
「四国の米を買いかねて」の話／146	詩の美人コンテスト／138	詩のテストとらのまき／133	お手本の詩など けとばしていく話／130	まいたタネには詩ができる／127	まかぬタネははえぬ、	詩は答のない答案用紙／120	ふしぎな詩／116	詩のツイスト／112	詩のうそ／109	アダ名づくりの名人は詩の名人／105	たとえことばは詩のたいそう／100	ことばの大発明家／96	だぶだぶのおなかの皮は詩の敵／91	詩のレンズは一万ばい／86	詩ひろい／74

3



2 詩デー／152

3 かみさまにおなら／157

4 たいふうがなんだってんだ／162

5 よくばりすずめ／167

4

1 チューインガム一つ／172

2 あなたはきょうから花です／182

3 黄色いかさとちあきちゃん／192

4 ほねくん、きみはぼくの足があるとおもって

のびてくれるんだね／197

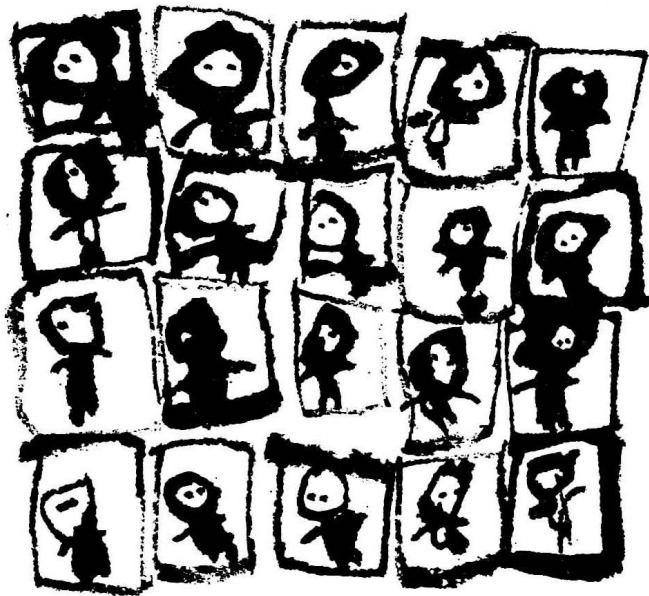
5 マコチンチンものがたり／205

あとがき／211

そうてい・さしえ

坪谷 令子
つぼやれいこ

1



* * *

ギャングのテスト

— 学校からかえったら、すぐおべんきょうをしなさい。しゆくだいがあるんでしょ。

— おかあさんがよんだのに、どうして、おへんじができないの。もう、テレビは見せません。
— 口答^{くちた}えはおよしなさい！

— おぎようぎがわるい。そんなことでは、よそのおうちへつれていけません。

— こんなにおそくまで、どこであそんでいたの。そんな子はうちの子じゃありませんからね。
— そうして、ずっと、そとで立っていなさい。

— どうして、そんなにけんかばかりするの。

— だれだ！ よそ見をしているのは。よそ見をしていて先生の話がわかるのか。

— きたない字だな。もっと、ていねいにかくくせをつけなさい。

— マンガをかくのはやめましょう。よい子はマンガを見ません。

— わるい点^{てん}をとってきたな。おとうさんは子どものとき、もっと、えらかったぞ。

— もんくをいわないで、さっさとやりなさい。このごろの子は、りくつばかり多くて、しんぼうがたりない。

— そんなおとなのごとで、頭^{あたま}のなが、わんわんと鳴^なっている人は、いまから、ギャングになることにします。しかし、ちよっとまってください。ギャングになるにもテストがあります。それに合格^{ごうかく}すれば、あなたはギャングになれます。

■ いちばんしたいこと * 二年 ひろた・よしのり

ひこうきにのって

うんこをばらまいてみたい

おしっこも

空の上でもいくそしてみたい

こんなふうに、じぶんの思ったことを、すこしもはずかしがらずに、どうどうといえるのではなく、とても、ギャングにはなれません。

それから、ギャングはギャングらしく、ゆうき勇気がなくてはいけません。すこしくらいは、おこりんぼでなくてはなりません。ギャングですから、かんろくがなくては、かっこうがつかないのです。

■ 先生 * 二年 おおつか・しんじ

おれ

もう先生きらいじゃ

おれ

きょう めだまとびでるぐらい

はらがたったぞ

おれ

となりのこに

しんせつにおしえてやっていたんやぞ

おれ

よそみなんかしていなかったぞ

先生でも 手ついてあやまれ

「しんじちゃん かにんしてください」

といって あやまれ

こわいだけのギャングでは、ありきたりで二流りゅうのギャングになってしまいます。一流りゅうのギャングになるには、ユーモア（おもしろみ）がひとつようです。テストはなかなかむずかしいのです。

■ えんまさんになって*二年 はら・そういち

えんまさんになって

ものすごいぶあついノートに

いつだれがどんなことをしたかかいとくねん

先生は ときどき ぼくに

あんまやこそばしんするから

そのばちでものすごいつよい

でんきあんまをかけたるぞ

かんにんいうても

ぜったいやめへんぞ

けらいのおにがてつぼうで

百ぱつぐらいおしりなぐるぞ

それからじごくにおとすよ

にげよ思ても

何百何千のおにが見はりしとうからな

いけずいたりうそついたりするやつも

みんな大きなペンチでしたぬいてやるぞ

ぎょうさんしたをあつめて

したのてんらん会をしたるからな

上等じょうとうのギャングになるために、まだまだテストはつづきます。

心を目で見ることはできません。ところが、それができなくてはいけません。じぶんの心、人の心をうつしとるかがみのようなものをもっているのではなくては、とても、テストにうかりません。

■おとうさん*二年　しの・ゆりこ

おとうさんはちよつとのことでおこる
わたしは心の中で

「おとうのあほ」とゆう

心の中でゆうのは

だれにもわからへんからべんりや

きょうの朝

かよちゃんがさきにさそいにくた

「ゆりちゃんが、はよいかへんからやないの
いつまでもテレビばかりみて」

とまたおこられた

学校へいくみち

「おかあなあほ　おとうのあほ」と

10回ぐらい　いいながら

心の中でフライパンを

ドンガラ、ドンガラたたいた



ぼつぼつギャングになるしかくができてきました。

こんどは、きょうはくじようが書けるかどうかです。ギャングのくせに、きょうはくじよう一枚まい書けないようではなさない。それもありきたりのきょうはくじようはだめです。よむなり、おとながたがたふるえだすくらいをやつです。おとなが、思わず、

「たすけてくれえー」

と、さけび出したくなるような、すごいきょうはくじようです。

■きょうはくじよう！こう*二年 まる・ひでお

いけだしゅしろう

きゅうちゃん

じえりーふじお

はしゅきお

ながしませんしゅ

けいさつかん

ぴーたばん

みそらひばり

あおいたろう

さいばんかん

おおひらかんぼうちようかん

学校の先生

おとうちゃん

おかあちゃん

みんなおしっこかいたるからそうおもえ

ここまで、みんな合格ごうかくした人は、いちおうギャングにしてあげます。このギャング団だんはおとなをやっつけるといふ重大じゆうだいなもくてきがありますから、まだまだ、きびしいくんれんをくりかえさなくてはならないのですが、ともかく、ギャングのしかくだけはできました。

では、合格ごうかくのしるしにピストルをわたしましょう。ピストルは紙、タマはエンピツです。これがギャングの武器ぶきです。これで、おとなをしゅうげきするのです。

じゃ、優等生ゆうとうせいに一発、うつてもらいましょうか。

■せんせいけらいになれ*二年 くぼた・しんべい

せんせい さるまわしのさるになって

みんなのまえでおしっこせい

せんせい 土人になって

ぼくのけらいになれ

そんでつーちぼみんならにせい

けんかのすすめ

けんかだけは、どんなにじょうずにやってみてもだれもほめてくれません。ほめてくれないどころか大目玉^{おおめだま}をくらうのがおちです。

しかし、けんかをしたことがないといえる人はたぶん、一人^{ひとり}もいないはずです。してはいけないといわれているけんかを、してはいけないと思いつながら、ついやってしまう。これはおもしろい。おもしろいといったらへんだけど、そんなどうにもならない人間^{にんげん}の心というものがおもしろい。

けんか。けんか。けんか。このこまった、ちっちゃなあくまみたいなやつ。どこにでも、だれの心のなかにもすんでいて、氣まぐれにびよいととびあるくおかしなやつ。

■なかがわくんに*一年にしかわ・さとし

ぼくはなかがわくんをむちやくちやにしたい

あたまを50ぱったたいてあほにしたる

それから おさけのはいっとるたるで

ごろごろひいてせんべいにしたる

まとして てっぼうでうってやる

あたまにあなあけて

ひもいれてかべかけにしたる

まてよ。

けんかにもいろいろあるじゃないか。ヤクザが、はものをふりまわしてやるけんかは、だれだつてにくむ。しかし、おふろで、小さな子どもが、せっけんのとりあいをして、おちんこもなにも、ほりっぱなしでとびまわっているけんかはどうだろう。

よし、けんかをすすめてやれ。

にしかわくんのけんかあいてになったながわくんに、わるいといわれているけんかをすすめてみたら――

■にしかわくんに*一年　ながわ・かつよし

いしをようけぶつつけて

あなのあいたところに

えのぐのくろをいれてやる

うまいことまげて

みたことないかびんにして

まい日　はなをかざつとく

けつきよく、けんかというのの一つの心と、もう一つの心がちんとぶつかることで、そのいたさを感じた心が、自分の口や手足に、動^{うご}け、とめいれいすることです。つまり、ののしかったり、たたきあったり、けりあったりすることです。そのあげく、おたがいの心にまで、きずをつけてしま